

TD-NMR (パルスNMR, LF-NMR) による

1名分料金で
2人目無料

分散性評価および粒子界面特性評価～基礎から応用まで

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250921>

◆日時: 2025年09月29日(月) 13:00～16:00

◆【アーカイブ配信受講: 9/30(火)～10/7(火)】の視聴を希望される方は、
⇒<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250921A> こちらからお申し込み下さい。

◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から

・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: マジェリカ・ジャパン(株)代表取締役
／ 東北大学多元物質科学研究所 客員准教授 博士(工学)池田 純子 氏

【講演の趣旨】

世界中の多種多様な産業における加工製品の多くは粉体が高濃度で分散した状態の物質が中間体や最終製品です。また原材料の濡れ性は分散性に大きくかわります。しかし高濃度のままで分散凝集状態や粉体の濡れ性を簡便に数値化可能な手法は多くはありません。特に黒色で粘性が高い分散体の評価に苦労している技術者の皆様のお話を伺います。

パルスNMRは簡便に様々な溶媒への濡れ性の違いや、従来の手法では難しかった粉体の僅かな違いを数値化する事が出来ます。また高濃度の分散体を希釈せずにそのままの状態分散性を数値化可能です。ラジオ波を用いていますので真っ黒な分散体も問題なく評価可能です。

解釈法や測定のコツも合わせて基礎原理から様々な測定事例を用いて解説いたします。評価法をこれから取り入れてみたいと考えておられる技術者の皆さんにお役に立てると幸いです。

【プログラム】

1. パルスNMRにおける緩和時間とは

- 1.1 測定原理
- 1.2 運動性の評価と分散体評価の違い

2. パルスNMRによる分散凝集状態の評価

- 2.1 分散条件の異なる分散体評価粒子径計測との比較
- 2.2 緩和時間から予測した最適な分散条件と希薄評価法との比較
- 2.3 緩和時間から予測した最適な分散条件と他原理による高濃度評価法との比較

3. パルスNMRによる粒子界面特性評価・濡れ性評価

- 3.1 表面処理の異なる粉体の界面特性評価
- 3.2 ロットの異なる粉体の界面特性評価
- 3.3 最適な分散剤量や種類の選定方法
- 3.4 細孔のある粒子の表面処理終点時間の決定例

4. 異なる溶媒への濡れ性評価～HSPへの応用

- 4.1 金属酸化物の表面処理有無による評価事例
- 4.2 粒子に適した溶媒混合比の推定と検証

申込書	※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< ☐ LIVE / ☐ アーカイブ >		
会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>